

令和元年 10月 15日

各位



日本自動ドア株式会社
代表取締役 吉原二郎

BCM（事業継続マネジメント）への取り組みについて

当社は、災害などの潜在的な脅威に対応するために事業の継続計画を策定し、不測の事態に直面しても事業活動が正常に機能するように、常日頃から BCM（事業継続マネジメント）に継続的に取り組んでいます。

【社員の安全確保】

1. 当社では、当社を取り巻く全ての人たちを幸福にすることが私達の事業の目的（コア・パーパス）であることを定めています。災害などの潜在的な脅威に対応する場合においても、このコア・パーパスを実現すべく、社員とその家族の身の安全を最優先としています。そのための避難計画を策定し、災害時などにおける安否確認のための通信手段を確保し、定期的に避難訓練と安否確認訓練を実施するとともに、食料と医薬品の計画的な備蓄を行い、万が一の不測の事態に備えています。

【事業活動】

2. 災害などの不測の事態において製品の生産が停滞しないように、常に2箇所以上の複数の工場生産し、1箇所が不測の事態で生産が停止した場合でも、もう一方の工場迅速な代替生産を可能としています。また全国各拠点に分散して部品在庫を持ち、施工や保守メンテナンスサービスの提供においても、近隣拠点同士で応援体制を構築し、同様のリスクに対処できるようにしています。

【ステークホルダーとの連携】

3. 当社では、お取引先や仕入先の皆様とお互いの繁栄と幸福を目指していることを、私達の事業の目的（コア・パーパス）として定めています。災害などの不測の事態においても取引業務が停滞しないように、当社の仕入先や顧客といったステークホルダーと連携し、日頃から不測の事態への備えと災害時などにおける行動方針を共有しています。